

女性建築家ならではの感性や心遣いが魅力  
 2月23日(土)・24日(日)は伏見区深草で完成見学会を開催  
 子育て世代にぴったりのファミリー向け住宅「すまいく」も人気です



映画「かもめ食堂」をイメージしたキッチンとダイニング。手塗り風の質感に仕上げた天井と壁、水色のカウンターなどが北欧ムードを演出しています

「Anny's Design 建築設計事務所」の代表を務めるのは、バンクーバーで建築を学んだ小宮山裕子さん。女性ならではの視点を生かして、心地よく暮らせる住まいの提案を行っています。海外スタイルのデザインも得意です。

過去には、フィンランドが舞台の映画「かもめ食堂」の空気感を再現してほしいというリフォールの依頼があったそう。色合いや質感などにこだわりつつ、家事の動線にも気を配った北欧テイストの家が完成しました(写真参照)。

3人の子どもを持つ小宮山さんが考案した、自  
 由設計の子育て住宅「すまいく」も人気。キッチンを中心とした空間設計や、キッズスペースを見渡せる対面カウンターを設置など、子育て世代にぴったりの家づくりが喜ばれています。

同社の住まいには健康に配慮した「ドライウォール」を採用。これは有害な化学物質を含まない水性塗料を壁や天井に塗る内装仕上げのことで、アレルギー対策にも役立つのだとか。

また、建物全体を梁(はり)と柱ではなく、枠組みと壁で支える木造住宅「2×4工法」を採用。耐震性・耐火性・断熱性・気密性などに優れ、日本の気候風土にも適しているそうですよ。

興味がある人は2月23日(土)・24日(日)に開催される完成見学会へ。同社が手がけた住宅を実際に見て、雰囲気や居心地などを確かめられるチャンスです。会場は伏見区深草下川原町26-5(地図参照)。要予約。当日道に迷ったら下記に電話を。

●宇治市槇島町大川原  
 4-9-1。午前10時〜午後6時、日祝休

